



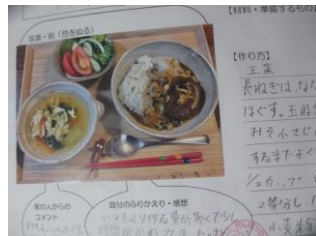
## 協力することのよさ、つながりあう大切さ (5年生)

今までの先輩たちが経験したことのない校内自然学校。プログラムは、竹とんぼづくり・しおりづくり・藍染め・ミニチュア秘密基地づくり。「水はここまででいいかなあ。」「ゆっくりで大丈夫だから落ちついて。」「思った通りにできるかなあ。」友達と息をあわせながら藍染めに真剣に取り組みました。自分のTシャツ以上に友だちのTシャツを大切に思う気持ちがあるからこそ、そういった言葉が出てくるのだと思います。そして、出来上がった世界で一つだけの藍染めTシャツ。デザインした模様があらわれると「めっちゃ綺麗やんか。デザインどおりになったね」と自分のことのように喜ぶ姿がありました。その後、出来上がったTシャツを干しに行くときにも、「落とさないようにゆっくり歩こう。」「同じものは一つもないなあ。」「全部、模様が違うね。」と、運動場のTシャツを眺める子どもたち。完成した藍染めTシャツは友達と協力した証です。藍染めTシャツを着るたびに、自然学校で、一緒に過ごした友達との思い出を振り返ることでしょう。自然学校を通して子どもたちは、友達と協力することのよさ、行事は自分たちで創るものであることを学びました。校内自然学校での学びを学校生活に、そして高学年として取り組む行事、運動会につなげ始めています。



## 秋の献立、つくってみたよ～カテイカの力～ (6年生)

9月、家庭科で旬のものを取り入れた一食分の献立を立てる学習をしました。学校で作ることはできない・・・(この時は緊急事態宣言中でした。)1学期もできなかった(感染症対策のため)。「でも、食べてみたい!」そんな思いから、宿題にしました。「先生、こんなんつくってん!」登校し一番最初に提出し、きらきらした瞳で説明を始めました。「今年はサンマが高いから、無理かもって言ってたけど、安かったから買ってきてくれてん。」と喜ぶ姿も。いつもはおうちの人が作ってくれている食事を、自分が作ったことの自信や誇らしさを感じました。



後日、何名か選んで発表会・・・思春期の子どもたち・・・家での話をどんな感じで発表するのかなあと思っていると、「玉ねぎ3個切ったら、涙が止まりませんでした。」(あるある～!)「質問です!お母さんのカレーと自分で作ったカレーはどちらがおいしかったですか?」少し考えて・・・「お母さんのカレーです。」「へえ～!(そうなんや!)」また、「いつもより時間がかかりました。」(よく作っているんだ!すごい!)「質問!いつも箸置きをおいて食べているんですか?」(どこ?)など、我が家の食卓での話で盛り上がりました。また、『めっちゃおいしい!なんておいしいんだろう!止まらない!ハンバーグ屋さんやって!!と大絶賛でした。』と家の人からのコメントを伝えてくれました。自分のふりかえりには『(家の人)喜んでくれて嬉しかった。』との声も。そんな秋の一コマでした。